

THE
JAPAN
INTERIOR
DESIGNERS'
ASSOCIATION

COLOMBOの 生活空間デザイン

最近の欧州におけるデザイン界で話題をまいているものの中に、イタリーのデザイナー JOE CESARE COLOMBO 教授による『HABITAT』と呼ばれる『生活コア』を挙げることができよう。

このプロフェッサー JOE CESARE COLOMBO の構想は住空間の伝統的な観念をいっさいシャットアウトし厚い壁の仕切りが細々と区切られた建築手法に囚われない全く新しい試みのように感じられる。この考えは私達がかつて IAI 現在の製科研で『住空間の在り方』を、関口、出原の諸兄と共に追求していた構想に近いもので非常に興味をいだと共に単なる模型だけでなく現物として南独ケルンの Interzum, 69に発表され、その後ユトレヒト（オランダ）やオーストリーの Wittmann 社でも展示されたとも言われている。

今回は MD-69 の8月号に掲載された記事及び、ZEITGEMÄSSE FORM 紙の中により要旨だけ簡単に述べさせていただきます。

コロomboのこの作品は従来の伝統的な生活様式や固い壁によって仕切られた部屋は必要なくなって、約 100㎡ 程のスペースだけあればよい。またそのかわりコロomboが、その機能から Machines と呼んでいるプレファブ化された家具が通常用いられている。

この家具は色々異なった部屋の機能に応じて分割できたり、動かせるもので構成されているし、必要な電動装置も豊富に取込まれている。コロomboはこの様な生活空間を Habitat（棲息地・住所）と呼んでいる。

このパーツは夫婦と子供1人用のものでセントラル・リビングとナイトリビング「バス・トイレの湿潤セル（ユニット）」付と台所セルの計三つの Cell より構成されている。

第一のメインになるリビングルームは解放された空間で四角の休息用 sitt-

ing と天井の手の届く範囲に取付けられた円い本棚からできている。この吊り書棚の下面には可動式のTVが装置されていて休憩しながら非常にコンフォータブルな姿勢でTVを視ることができる。このセントラル・リビング・コアは模型写真でもわかる様に他のものより小さいが、そこに住う人の必要に応じて拡張することもできる。

第2のナイトコアは囲われた空間でベッドの様に見える。これらの写真はコロomboのデザインを示す一つの例であるが、目的に対する機能がごろんになるよう形の上にもよく現われている。中は汽車の窓のカーテンの様に特殊なカーテンが用いられ夜の生活を他から妨害されることなく充分にくつろぐことができ、しかも部屋は全常温装置でエアコンディションされている。

またバスルーム、リビングコアの写真に大きくとび出している半円型には丸い浴槽もあり寝室と直結されている。

第3のキッチン コアにはハッチの所から引張り出して使える食卓がセットインされており、日中には又、書棚としても利用できる。流しは半円型のプランで人体の作動域に合せて計画されその手前には各種の電気機器のコントロール・パネルがセットされており空間が立体的にうまく生かされている。

この3つのコアに就いては別添図面を参考にしていただければ御理解が早いと思われます。

また、このデザインにおける重要な材料として合成繊維の役割が非常に重要視される必要がある。この合成繊維とその色彩はこの部屋にパーソナルな性格を与えると共に無限の可能性をも引き出してくれる。それは過去のテキスタイルではとてもできなかったような有利な可能性をも与えてくれる。

● 月例会報告・生活の中のトイレとバス・5

● コロomboの生活空間デザイン・1

● 日本のインテリア・中間報告・9

● 新入会員紹介・会員近況・9

● 業界ニュース・10

no.4 ————— vol.41



コロombo氏

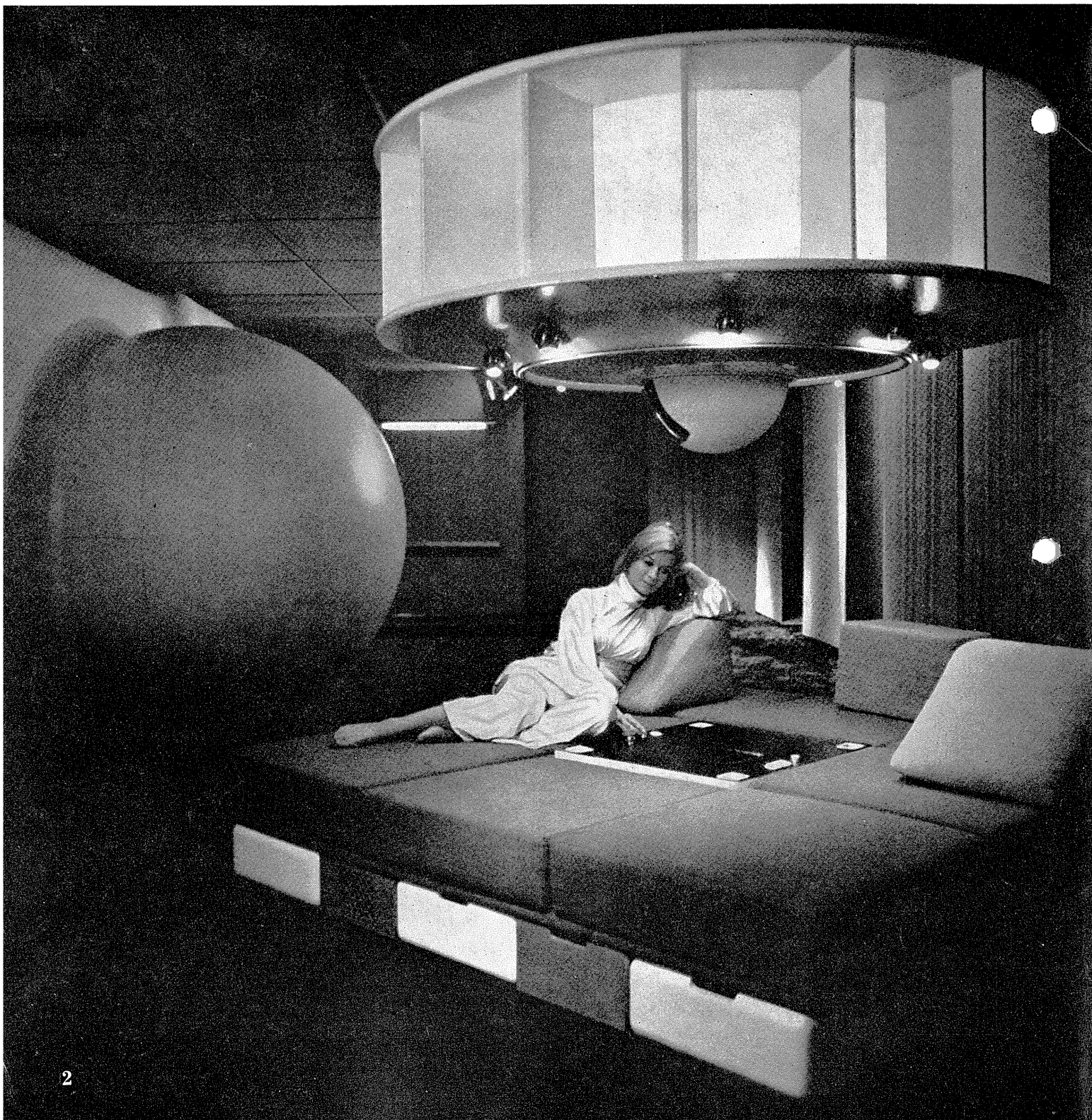
次に以上の様に紹介してきましたがこの作品及びコロomboの他の作品について現地イタリーのデザイナー間では何時も変った事をやるデザイナー位にしか言われていず必ずしも経済的には成功していないと聞いている。従って今回の『HABITAT』にしても生産に入っているわけでもなく合成繊維会社と提携した一ツのデモンストレーションに過ぎないが、この作品のいたるところに各種の示唆に豊んだところが見受けられる。

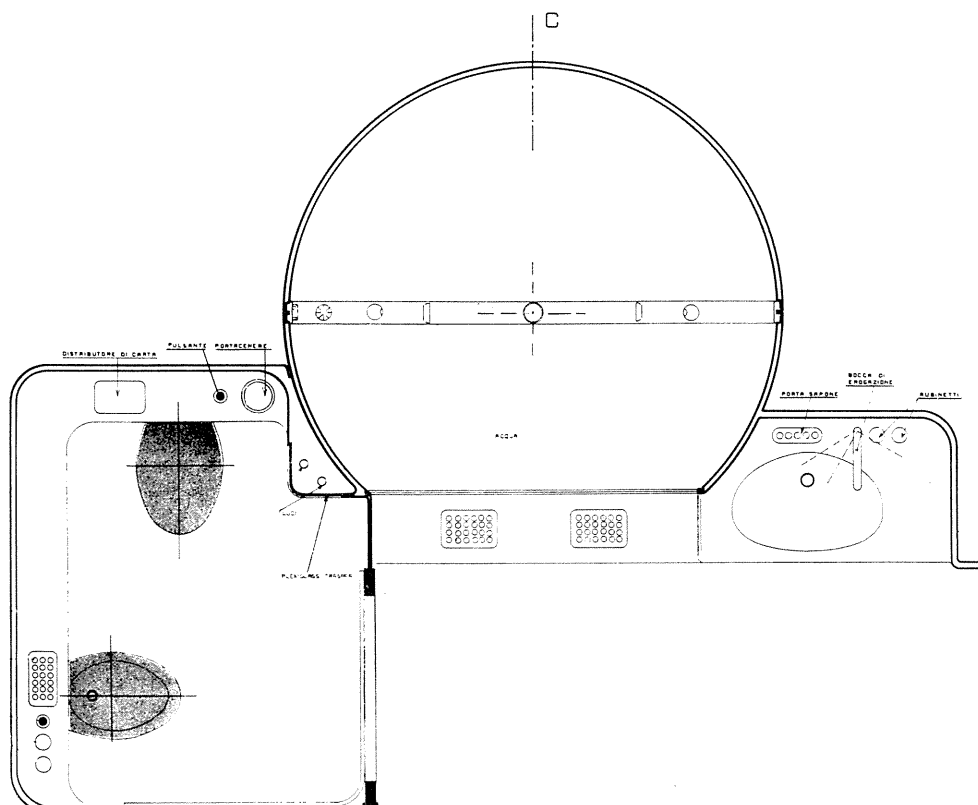
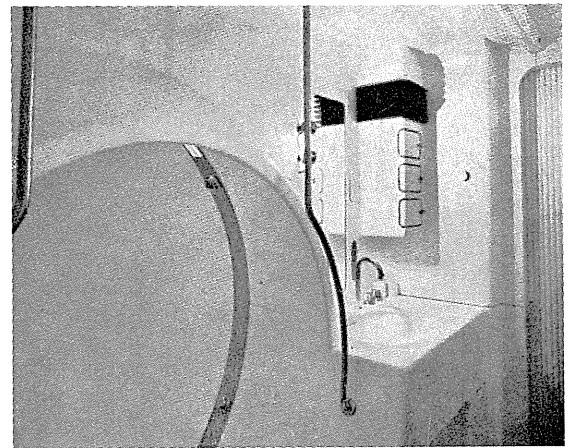
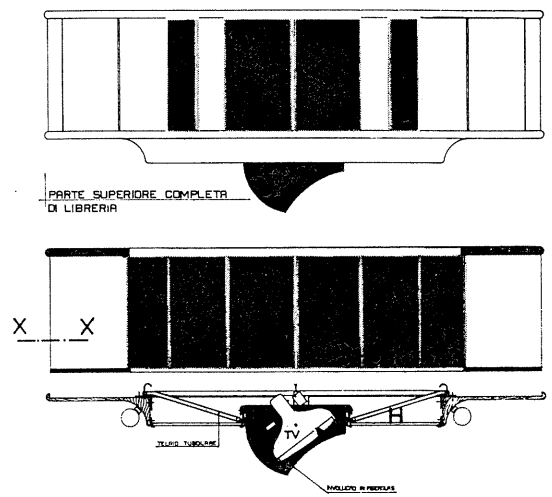
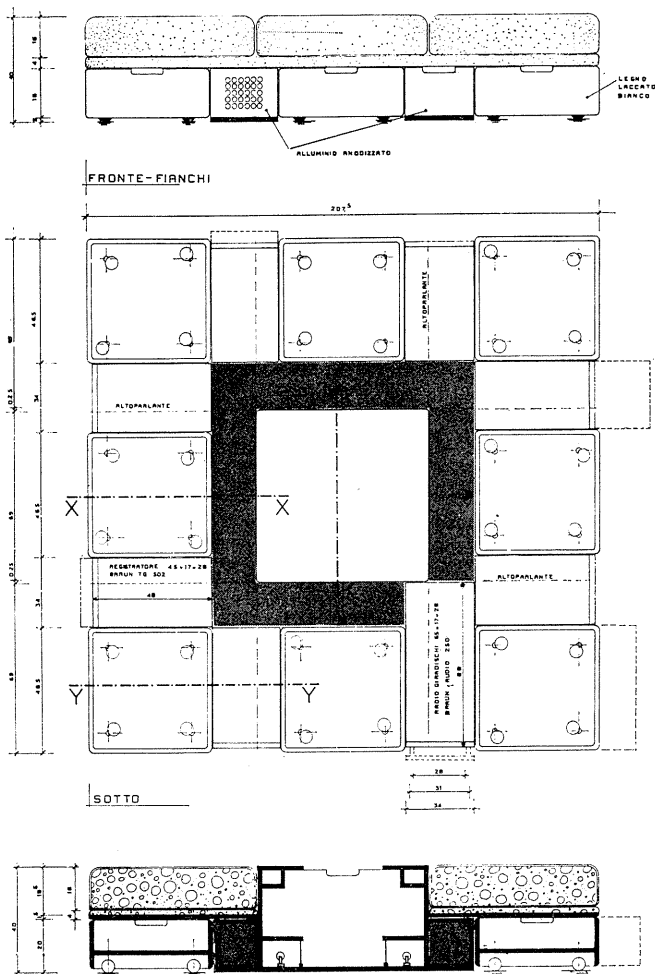
最後にコロomboのデザインによる別

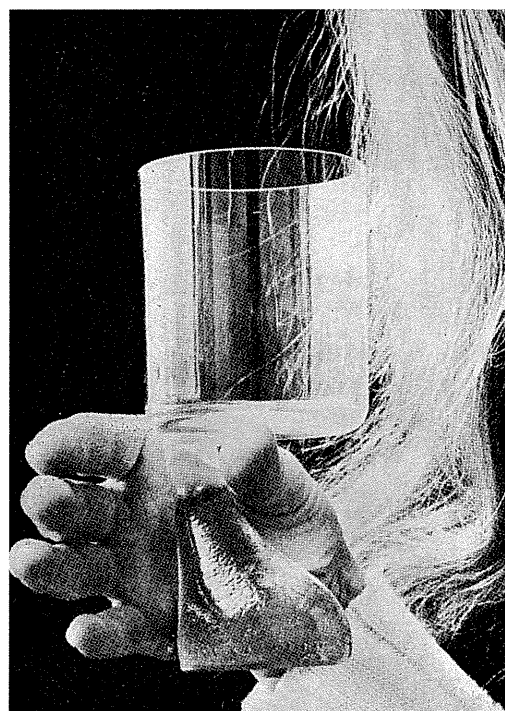
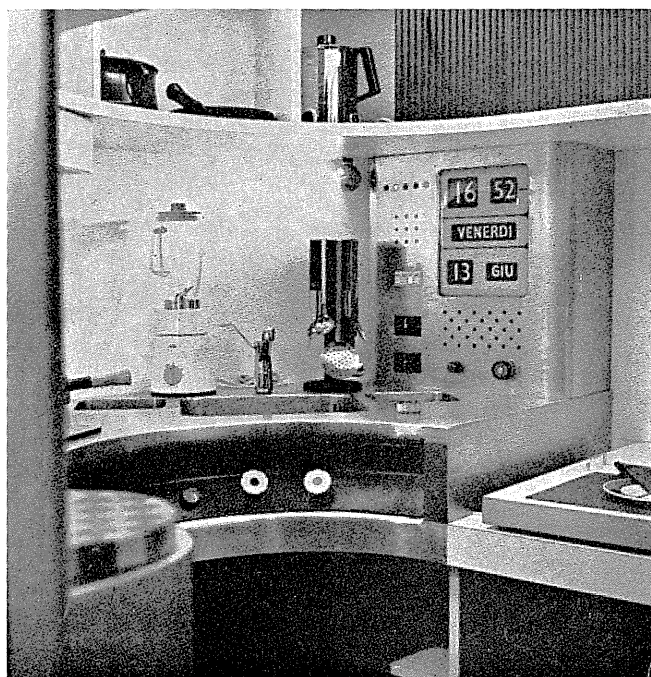
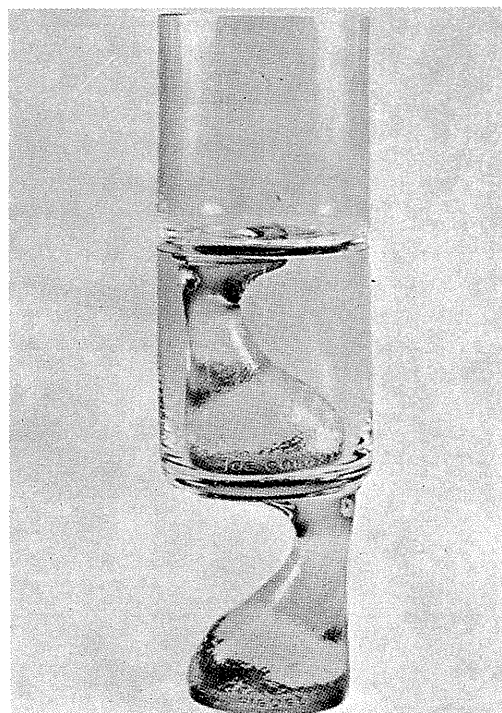
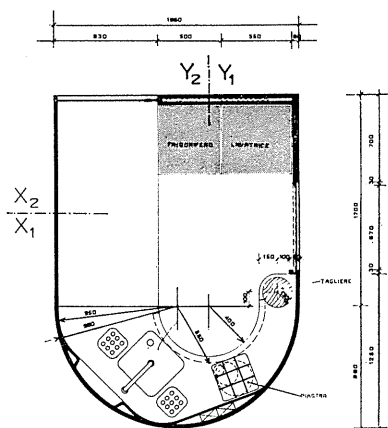
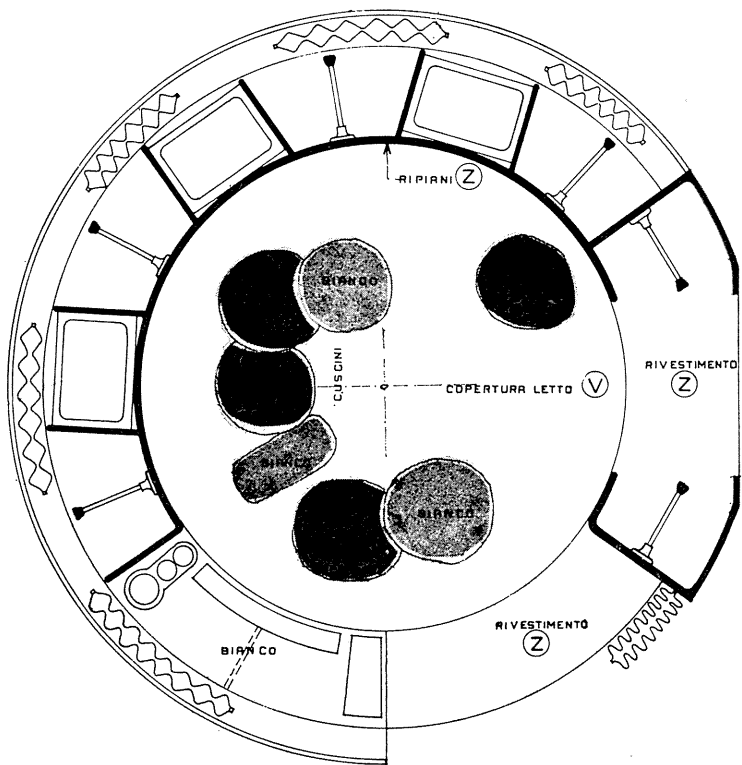
なガラスのデザインも紹介しておくメーカーは Clause J Riedel, Tiroler Glashiitte であり写真の様に手にしても指はフリーになりコップをもちながらも動作に應ぜられるしコップそのものはスタツキングも可能である。ただしこの商品は生産に乗り店頭でも見受けられる。

Riedel 社はオーストリーの有名なガラスメーカーでコストは14DM (約1,400円) 割合高いものである。

JETRO 駐在員 榎田均







会員のみなさん、お元気に御活躍のことと存じます。

ニューヨークの冬は東京よりさらに寒さがきびしく、12月から2月までは零下15°C位までの間を UP & DOWN しております。

昨年のこちらの話題のひとつは、インテリアデザイナーのプロフェッショナルな業務活動をライセンス制にしようとする主旨の法案が、この国の国会に提出されたことです、しかし業界や多くのデザイナー達の反対にあって、この法案は成立いたしませんでした。

また従来まで、建築家やインテリアデザイナー、デコレーター達は、メーカーからホールセールプライスで家具を買うことが出来ました。そして顧客には、それを小売価格の何割引きかで販売する事が出来るしきたりになっておりました。

但し今年の1月からは、特定のディ

ーラーをもっている家具メーカーからは直接家具を購入することが出来なくなりました、つまりメーカーは、上述の専門家や一般顧客に家具を販売する場合には、契約をしている自分のディーラーを必ず通じて売らなければならなくなった訳です。

これはディーラー契約を保護するための国からの行政指導によってとられた措置です。

アメリカのインテリアデザインは、今大変システムティックな方向へと向っております、既にオフィスデザインの分野などでは、そのシステムが完成されており、デザインを如何にパワフルなものに質的に転換してゆくかにそのポイントがおかれています、建築事務所でも、インテリア部門をもっているところが多くありますが、スペースデザイングループ、I.S.D. インコーポレーティッド、ノル・プランニング

ユニットなど活躍しているインテリアデザイン事務所としてあげられます。

また最近の家具デザインの一部の傾向としては、イタリアンデザインの導入と、プラスチックファニチャーが挙げられます、日本のデパートとは比較にならない程保守的な、アメリカのデパートでさえ、ワンモールドのテーブルや椅子を、ようやくとりあげるようになって来た昨今です、ニューヨークのメーシー百貨店や、ブルミングデール店では、これら新しい家具のために、モデルルームを設けている程です、デザインの多くはイタリアからの物ですが、当地でも Joe. Colombo などのイタリア系の進新デザイナーが、この分野での仕事で活躍しております。

1月25日 1970年

月例会報告

昨年来の月例会、研究会合同の委員会で検討した結果、ただ新年会だけでなく、肩のこらない新春放談的なものの後にパーティーを行うことになった。講師はトイレット部長として有名な前国鉄外務部長（現国際観光振興会理事）にお願いした。氏は東大建築学科出身の建築家で半生を駐車場の設計と、トイレ等を研究された。

当日は会員36名、会員外9名の参加があり、話の性質上女性が敬遠するかと思ったが10名の参加があり、インテリアデザインを志す女性の熱意は心強かった。

話の内容は下記速記録の通り、生活の中のトイレとバスの在り方を話され、それらはこれからのインテリアデザインの重要な対象であることを強調し、半生を投じた研究の、ウン蓄のある話をされそれをニンマリと聞いていた方が多く楽しい会であった。

吉永 淳 記

生活の中のトイレとバス

藤島 茂

私は12月初旬、渋谷で自動車事故にあい、幸いその後元気で居りますが、病院で脳波を調べてもらいましたら異常があると云われました。しかしその異常なのは事故の前からあったものか事故によって出来たものかは、わからないとの事です。今日の話の中で変な事がありましたら、事故のせいと思って下さい。今日は別に話しに付いて用意して参りませんでした。この会の後で例会の新年会があるそうですから、その余興と思って聞いて下さい。

インテリアの問題に入る前に、ごく常識的にトイレの話をしてしましよう。

トイレには色々ないい方があります。便所という事は余りあからさまにいいたがらない。例えば、W.C (Water closet) は英国では使われていないで、フランスで使われています。黄色の上に赤色で W.C (ベ－・セ－) と書かれています。私の書いた「トイレット部長」という本に対して種々手紙

が寄せられました。その中に W.C はフランス語ではダブル・セ－ではないかというものでした。それに付いてフランス大使館で聞きましたところ W.C はベ－・セ－でよいという返答を得ました。フランス語の Toilet はドイツで使われています。これも発音の事ですが、トイレと読まず、トイレットとちゃんと最後に「ト」を付けて読んでいます。その他、Powder-room, Rest-room 等ありますが、Powder には火薬という意味もありますので適当ではないとおもいます。

日本でも隠語、大和言葉で150種以上あるようです。言葉の中には洒落たものがあり、閑所という語もあります。国鉄の昔の御召列車の図面をみると閑所となっています。現在は御厠屋という語を使っています。その他呼称には勘考場という語もあるし、高野山、厠等の語もあります。高野山という呼び方に付いては、どうしてそうい

う呼び方が出来たかと考えました。私は初め高野山には多くの人が上るのでその便所の処理に水を使い、いうならば日本で最初の水洗方法を使用したからだと思っていましたが、それは違っていきまして、坊主になりますと髪を落します、便所の中でも紙を落すからであるという事です。

廁屋説には種々ありまして、

- ① 川屋——川の水が処理する
- ② 大便——カワヤ（クソヤ）
- ③ 側屋——外国は主屋の横のところに便所があるところから、back-house、とかSide-house とかいう。

- ④ 交屋→人々が交る交る行くから。

出来るならば、そういう言葉を使わないで、その場所を示す事が出来るとよいのです。私は建築家ですので、だいたい知らない処に行っても、たいていの場所を当てる事が出来る。そこでそれを見つける事が出来ないとしたら余程設計が初めからおかしいのではないかと思う。宮内庁から新宮殿建築に当って、トイレで何かチェックする事はないかという電話があったので、そこで私は、色々な人が宮殿に参上するであろう。そこには地方から参上する人も居られるでしょう。その時廁屋のあり場所を聞くわけにもいかなないでしょうから、ごく常識的な場所に、床の高低差のない、あまり変ってない物を作る事を勧めました。

絵文字で場所を示すところも多い。例えばトランプのキングとクイーン、シルクハットに手袋、人の男女別の服装、その他があり、かなり絵文字でグラフィック化しているものが多い。男女用、女子用を示すのは今申し上げましたように割合と簡単ですが、トイレの総称の標識がないのです。何か単的に表示できるビジュアル・コミュニケーションがないものかと思うのです。大阪の万博でも種々考えられている事でしょう。ドイツの万博ではその点大変上手な標示をしました。ポールが立っているそのポールの上にキュービットが矢を持っている。その矢の向っている方向にトイレがあるという約束事になっていたのです。トイレに関しての名称や、表わし方は昔からずい分沢山あったのです。

話が变りますが、私がこの道に入ったのもトイレの研究がもともと好きで入ったのではないのです。駅の設計がしたいばかりに国鉄に就職したので。私は駅とか病院に大変興味があったからです。病院は、入院、外来者、その他サービスをする関係の人々の動線を心理上も含めてうまく連絡するという事がありますし、また駅というのは、乗る、降りる、近くに行く人、遠くに行く人等多くの目的を持っています。日本の駅は大変な数の人が使う、その点世界でもこんなに多くの人が使うところはないのです。イタリアのターミナルステーションそれはムッソリーニ時代に側面を作り、戦後に正面を作ったあの大変大きい駅でも一日に20万人位しか使わないのですが、それに比べて東京は一日平均8,283万人でしかもこれは切符を使っている人だけの数でこの他定期券利用の人を加えらるともっと多数になり、ホームからホームに移るだけの人を加えらると約120万人の人が使うと推定されます。その多数の人に使われる駅というのは大変乱暴に使われる。その中でも特にひどいのはトイレなのです。そんな事から本にまとめてみたのが「トイレット部長」のおこりです。

- ① 群衆があつまる場所——駅その他

- ② 多くの人に使われる——ホテル、事務所・ETC

- ③ 個人の家、個人が使う——住宅

ETC

等それぞれの場合によって設計が変わります。大衆、多くの人が使う場合は細かいむずかしい事を考えると失敗します。最もシンプルで、原則的で、頑丈である事が大切です。ホテルとか住宅はまたそれと異ってきます。昔からトイレに付いては何んやかんやいわれながらもあまり誰もまとめないし、昔のままの場合があり、変っていないのです。水洗なんていうのはエジプト時代からあったのです。せいぜい新しいものをあげてみますと、スイス製で35万円するものなのですが、日本で作ると28万円ぐらいといわれています自動洗浄装置です。用を足した後で足でペダルを踏みますと後から棒が出て来まして、そのノズルから温水と熱風が出てくるというしかけです。しかしそれ

が乾くのに20~30秒掛りますのでネックになっています。

用を足した後で紙を使うのはよくないのです。インド、パキスタンその他の国で始んど水で始末されています。イギリスがインドを支配している時2つの事で軽蔑されていました。その一つには、アンタッチャブルな下層階級しか喰べない牛肉を喰べること、それにもう一つは、排泄の後で紙を使うことでした。

排泄物の処理の方法では、すっかり焼いてしまう方法があります。熱源は電気熱またはプロパンガス使用による方法があり、スウェーデンで使われています。それはタワー（火の見等）勤務している場合とか、ディーゼルエンジン列車の運転士など使う人の数が少ない場合には具合がよいのですが、多くの人が次から次へと使うには大変具合が悪いのです。列車のトイレも焼却式はどうかという話も多くあったのですが、多くの人が使うし、煙突を使わなければならないし、電熱を多く使用するのはむずかしいしまたプロパンガスを積んで走るのとは難かしいとか問題が多くありました。将来は原子力利用などの方法で解決出来ると思います。

列車の場合は、タレ流しです。マスコミから一時期そのタレ流しに付いてだいふたたかれました。150年前からタレ流しで既得権みたいなものがあったのですが、国鉄のほうでも困っているのです。保線の工夫等の人にも良くないし、排泄物管を曲げておくと列車の下側についてしまい大変具合が悪いのです。外国ではタレ流しで走っていますが、野原を走り、都市に入っても家に接近していないという違いはあります。

国鉄ではそのタレ流し方法を改造する方針に変えることにしました。世界中で何かしているのは日本だけです。

特急はタンク式

常盤線はディスポーザーに消毒液を加えて、少しずつ散らしています。

新幹線は600 lタンクを床下に備えるため新幹線車両で8~9億円掛りますので車両を回数多く使わなければ損をするわけです。車両のモーターの能力があってもトイレが満タンになれば基地に戻らなければならないので大変

なロスになるわけです。それでジェット機方式を使う事にしました。新幹線のトイレでも古いのは陶器の便器ですし、新しい車両ではステンレス便器で青い水が出てくるのになっています。

飛行機の排泄物処理方法は、初めは穴だけで霧散させていました。のちにはそれにアミを取付けています。プロペラ機の場合では、椅子の下にバケツを置いておきました。その後、バケツの代りにタンクを取付け、それを飛行場でバキュームカーで外から始末する方法となりました。そこで私の書いたトイレット部長という表題の説明になりますが、新幹線車両で使うトイレに付いて研究する為に、羽田空港に飛行機の9,500フライトに付いて調査しました。そしてエンジニアやその他の人々と協力して、新幹線の車両で使うトイレは、「循環式」の現在のようなものになったのです。それは前の人が使ったのを、濾過して、それを消毒する、そしてそれに色素を加えて使う仕組みです。その飛行機のトイレの研究の為にダグラス社のレポートを見たのですが、その表紙に人間的要素工学部門と書いてあり、そのレポートは、人間的要素工学部門がまとめたもので、専門にそういうものを研究しているセクションがあるというのを知りました。それで人間的要素というのは変です、トイレット部とふざけて、あの本の題名が出来たのです。

前に人類の種々な道具の中で、こんなに進歩していないものはないと申しましたが、ディテールに無関心のものが多いのです。例えば都内に新しいホテルが出来ると、それで行ってみる、たいていトイレットの男女の分け方が非常に悪く出ています。悪い例では銀座東急ホテルのロビーのトイレです。男女の入口が接近しているのです。理想的には別々の入口とか別の路線を通るようになっているとよいのです。例えばトイレは隣り合せになっていたとしても入口や路線の導入方法が違ってするように意識されるようにしたらよいのです。そして中に入ってみると、紙がある。その紙のホルダーをちゃんと取付けていない場合が多い。ということは向って右手についているものが多い。洋式は便器を使っている姿勢で左

側、和式は右側が本当であって、このへんの事が無神経に使っているものが多いのです。設計上無神経な、考え無しな点が多いのです。あるとき非常に感心したことがあるのですが、それはある新しいホテルが竣工した時、施工现场の人々やその他多くの人々と話をする機会があったのです。その時ある現場の人が、このホテルの施工で一番気を使ったのはバスとトイレであるといわれたことです。ではなぜ気をつかったのかというと、トイレやバスを使う時は人は裸になっている。その時というのは外に対して気が非常にたっている。タイルにしても具合悪く付いていると、気が付くし、鋭敏に反映するからです。また、トイレの前の面はジェット見つめるところであるので、それがタイルの貼り方がまがったり、凸凹していると気になったりするものなのでそういう面で、バスルームに一番気をつかったといわれたことです。

住宅の場合、これから新築するような場合に、いわゆるトイレを西洋式に風呂場と一緒にしようという考えをしている人がずい分と多いようです。しかし私はその考え方に対して、まだずい分と考える余地があるのではないかと思います。またこれから盛んになってくるプレハブ住宅ならば別なのです。ではなぜ私が問題があるかということそれは、なぜ西洋人はバスとトイレを同じ部屋に置いているのかという事に付いて考えてみることにになります。一緒に部屋に置いて不便はないのでしょうか？、満足なのか？これらに付いて考える必要があるのです。彼達の場合、どうしてもと別々の使い道の物を一緒にしたのか？私が勝手に考えた事なのですが、15年前にパリに住んだ時の経験によりますが、パリの建築は石造りであるのですが床はレンガです。石で積む事は出来ない、あれは全部木造の床で、50人も、60人もの人々が立体的に住んでいるわけです。木造の防水は大変である。床の上には水を置いてはいけません。そうなる何とか器の中で使う事になるのです。そうすれば、そういう場所をパイプで繋げなければならない。この辺に彼達がバスとトイレと一緒にしている大きな一つ原因があるのでは



講演する藤島氏

ないかと考えるわけです。しかし、15年位前からトイレとバスを別々にするという設計が増えているのです。

日本の場合には風呂場とトイレと一緒にして何も良い点がないのではないかと思います。それを考えた上で、パイピングを一緒にする為とか、面積軽減のためとかいうのならまた別の事です。

トイレの場合は、チェックポイントとして、どういう処をどういう事にするかという基準がないのです。

人間の排泄の姿勢の中で、それにも種々なタイプがありますが、日本式のしゃがむというのは合理的であるとコーネル大学のレポートにありました。しゃがむと一番力が入るのです。西洋式のはまことに不自然な姿勢です。これから我々が開発するならば、座を18cm迄に低くして日本式と西洋式の間くらいの高さにして解決してみたいと思っています。

300年～400年前に現在の便器の原型は出来ていますがそれが殆んど進んでいないのです。

形態
色彩
配置
その他

インテリアの中のまた1つのインテリアに皆様が御活躍なさる事柄が多いのではないのでしょうか。

質疑・応答

①Q フランスのトイレットペーパーに付いて？

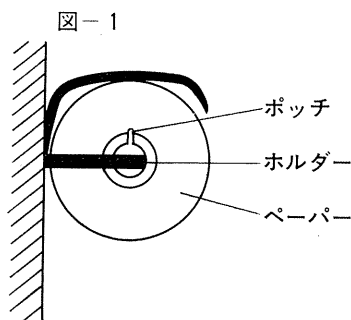
A 普通フランスで使っているのは

ハترون紙の非常に薄い、ロールのかかった吸水性のない紙です。どうしてそういう紙質の物を使っているのか疑問です。しかし1ヶ月位経って便に変化がありヤギの糞のようになってくるので、あのような紙でよいのかなとも思っています。私自身でも疑問です。

国鉄では用便紙といっています。グリーンカーには備え付けられています。

日本ぐらい新聞が多く都に散らばって多く読まれ、文盲などいない国なのですが、神田や上野で実験しましたが、紙がロールのまま持ち去られるのです。

先日子供の発明展の中で小学生または中学生の考案の作品で大変秀れたもの



のがありました。図のような構造でロールが太い間は絶対に取り出せないのです。大変頭の良い子が考えたのではないかと感心しました。

また紙の切り方により経済面でも大分違ってくる。普通上側にかぶっているおさえのウェイトにより支えられ切るようになってい

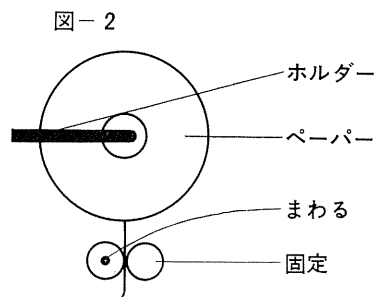


図2のようにペーパーを下のローラー部分を通過させる装置にしておきますと一方には紙が出てゆきますが固定の側ではストップしますので切り易くなります。

②Q タオルの種類と使用途について

A 大きい物は、湯上り、敷物

小さい物は、いわゆるタオルです。顔をふいたりします。もう一つ木綿の布で小さいものがあります。ヨーロッパスタイルに多くありますが、その用途はここでは申し上げられません。

③Q トイレの排泄物処理方法としてカートリッジ式(万年筆のインク交換のような)はどうでしょう。トイレ無しの建物も出来ますが、

A 大変おもしろい考え方です。宇宙飛行ではビニールの袋で作られた携帯用のを使いました。イギリスでも17か18世紀馬車で旅行する時、日本の七輪みたいな形態で、オガクズと石灰が詰まった物を用いてました。それを固まってから野や原で捨てました。大便の臭気はコントロール出来るのですが、小便は乾きま

④Q ヨーロッパで「ビデ」を使うわけですが、私は大変結構な器具であるとおもうのですが、

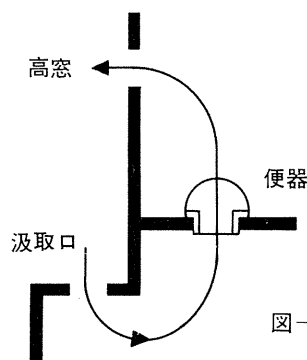
A 私はバスとビデを一緒にするのがよいと思います。ビデとは小さい仔馬という意味ですが、あれは色々に使えるしヨーロッパのホテルではビデが備わっているという事がその部屋の1つのメリットとしています。シャワーは上方からだけで、十分に洗えないところもありますから、あれがあれば大変具合がよいのです。子供(赤ちゃん)の入浴とか小物洗濯とか用途は多い。女性用洗滌器と教わりましたが、ビデのためにも、もっと違った考え方をしたいものです。

⑤Q 色彩について何かお考えを

A 色彩に付いては考えられていないと思います。特に照明はもっと考えねばならない点です。天井から下に向って照明されるのはよくないと思います。昔式の和風便所の照明は男女便所の中間から両方に照らす方法のがま

だよいのではないかと考えています。住宅ではもっとフットライトを使ってもよいのではないのでしょうか。

⑥Q 便所の中の換気、窓の配置、臭気抜きの問題につきまして何か水洗便所ではなくて駄目だと主張している私なのですが、自分の家を新築しましたが、下水管より低い場所にありますので水洗方式が使えず汲み取り式になりました。始め高窓だけしか設けませんでしたら空気が図3のように、くみ取り口から空気が入り、くさい空気を上方に持ってきてしまいました。やはり普通のハキ出し窓は必要であると思いました。今は強制換気方法になおしました。



「日本のインテリア・2」

出版に関する中間報告

広報担当理事

45年10月出版予定の「日本のインテリア・2」は、昨年より実行7名、テーマ8名の構成委員により検討を続けてきましたが、2月中旬の理事会承認を得て具体化の段階にはいりました。以下は現在決定されている事項です。ただしテーマ、内容等についてはあくまで仮称であり、担当者も委員側で勝手に書かしていただいたもので今後の討議により最終決定されるものです。

A 掲載内容

1. イベント……………40ページ
日本及び世界におけるインテリア及び関連界で行なわれた事柄。
2. インテリラスペース・インター
スペース・エクステリラスペ
ース。……………15ページ
住空間に関する評論。
3. インリアーデザインにおける I
・Dの意味……………15ページ
4. エッセー……………10ページ
5. 日本のインテリア……………35ページ
江戸時代以前におけるインテリアデザインの展開……………座談会
6. 装置芸術の新しい展開
……………25ページ
7. 資料……………20ページ
8. 会員名簿・作品リスト
……………40ページ
9. 広告……………60ページ

B 出版関係事項

- | | |
|---------|------------------------------------|
| 1. 出版社 | 鹿島研究所出版会 |
| 2. 発行部数 | 1,500部 |
| 3. 発行時期 | 45年9月末 |
| 4. 定価 | ¥3,000程度 |
| 5. 編集業務 | 鹿島研究所出版会 |
| 6. 企画編集 | 協会広報部出版委員会・鹿島出版会
よりも編集者参加
以上 |

なお3月9日には鹿島研究所出版会の編集スタッフを加えた第一回目の委員会が開かれました。会員諸氏の御意見がありましたら、御手数ですが御一報下さい。 泉 修二

■新入会員紹介

正会員（大阪）^{とちや けんいち} 栢谷 賢一

（昭和10年8月7日生）

多摩美術大学立体デザイン科卒業後高島屋工作所、剣持勇デザイン研究所他を経て現在トチャ室内装備工業kk専務を勤めております。推薦者の剣持勇、渡辺力氏は「設計と監理の両面にわたり充実した経験をつみ人柄、力量共に充分に会員として推薦出来る人であると思います。」とのべておられま

■会 員 近 況

・有川勲一（錦江建築研究所）
新宿にマンション設計中。サウナ設計中。住宅設計監理中。

・加集喜雄（三和室内工業kk）
新帝国ホテル地下アーケード、フタバ毛皮店設計。浜松町貿易センタービルに移動の川崎重工役員会議室家具設計小田急ハルク会ベッドルームセット設計。

・小泉克也（カーターアート社）
巢鴨味のドミノ会館B1～5Fの各階店舗設計中。五反田却売センター内ロダン設計中。新宿明宝ビル地下商店街設計中。住宅公団小金団地造園設計中。富山県井波町観光計画及び墓地公園企画及び基本設計完了。

・合田正甫 日建設計工務（株）
完成工事
○神戸商工貿易センタービルインテリア（神戸商工会議所其の他）
○高知相互銀行徳島支店インテリア計画及び工事監理中
○ホテル徳寿インテリア
○神戸タワーサイドホテルインテリア
○都市センターホテルインテリア
○住友生命広島ビルインテリア（大分銀行広島支店其の他）

・鈴木憲治（株）ベルツ・インダストリアル・デザイン研究所
鋼製中量棚、Tラックシステム、

す。

勤務先 トチャ室内装備工業（株）
TEL 0776-24-2158
現住所 福井市大手2-22-40
TEL 0776-23-7188

正会員（九州）^{おおやま しげさぶろう} 大山 繁三郎

勤務先 九州産業大学 芸術学部教授 デザイン学科
福岡市香椎唐ノ原287

最近鋼製家具メーカーの有力な商品群となった。鋼製組立棚をシステム化、デザイン化したものです。一つの棚から数千坪の2層棚まで出来るものです。

講習会 1月14日、1月21日

「J I Sによる実用的な設計製図法」
著作「平行フェイリング」ビジネス・ファニチャー12月号。製作品鋼製棚シリーズ各種発表。

・白石勝彦（白石勝彦住空間設計室）
44年12月末日をもって株式会社松屋囀託を辞任いたしました。今後はデザイン業務に専心する積です。

・南部竜幸（株式会社小川商店）
今年から本社勤務に復帰致しました。
住所 港区西新橋2-6-1
TEL 591-1386

・平井 進（平井デザイン研究室）
万博会場内エキスポランド売店設計担当。他千里中央地区センター、ミナミ地下街の店舗設計担当。

・広田長治郎（広田デザイン事務所）
4月はじめ著作「デザイン製図」を発売致しますので御愛読下さい。室内デザインの製図にかなり頁をさいています。

・宮之原武雄
昨年末より消化器系統故障のため入院検査中です。

・山品 元（日本コロンビアkk）

住宅用オーデトリウムの試作

・森谷延周（環デザイン事務所）

山水電気 kk 八王子店ショールーム設計監理。1月15日オープン。

国際自動車及びkm観光 kk 依頼赤坂見付にコーヒーショップ兼観光インフォメーションを企画中。「新住宅」1月号にこれからのインテリアと題して執筆致しました。

・高橋岩夫（フリー）

42年2月28日をもって三宅建築造型事務所を円満退社し、今後フリーとしてデザイン活動をしていくことになりました。事務所はもっか準備中です。

■ 業界ニュース

日本ディスプレイデザイン協会

ディスプレイ・デザイン 1969年賞

《金 賞》

新宿タカノ・洋品部門のディスプレイ・デザイン

クライアント：株式会社新宿高野

デザイナー：高見慧、倉俣史郎

プロダクション：株式会社西武百貨店・株式会社松屋・清水建設株式会社・株式会社渡辺製作所

《銀 賞》

資生堂会館「ピンク・パウワウ」ウインドー・ディスプレイ

クライアント：株式会社資生堂

ディレクター：宮河 久

デザイナー：伊藤隆道

《銀 賞》

赤坂東急プラザ：インターナショナル・ショップを中心とするディスプレイ・デザイン

クライアント：東急不動産株式会社

ディレクター：秋元一良、青山二郎

デザイナー：服部晃、藤尾和美、堀田富弥、見城正人、本間顕一、三浦正志、解良憲司

プロダクション：株式会社東急エージェンシー ほか

《銀 賞》

ナショナル出品ブース（佐賀博・科学館）

クライアント：松下電器産業株式会社

ディレクター：中村博幸

デザイナー：田中 茂、中瀬古由夫

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《銅 賞》

超高層建築展（晴海・建築センター）

クライアント：財団法人建築業協会

ディレクター：浜口隆一事務所

デザイナー：田中俊行、伊藤隆道

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《銅 賞》

栄太楼総本舗 ウインド・ディスプレイ

クライアント：栄太楼総本舗

ディレクター：三沢国家

デザイナー：倉茂秀夫、松村潤之介

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《銅 賞》

オリエンタル中村「都会派の5月」ウインド・ディスプレイ

クライアント：株式会社オリエンタル中村

ディレクター：岡本 信

デザイナー：鈴木判和

プロダクション：吉 村 工 芸

《銅 賞》

新宿タカノ「都会派のフイーリング・夏」

ウインド・ディスプレイ

クライアント：株式会社新宿高野

ディレクター：小山邦夫

デザイナー：山本健司

エージェンシー：トータル・デザイン

《銅 賞》

倉紡記念館・ディスプレイ・デザイン（倉敷市）

クライアント：倉敷紡績株式会社

ディレクター：松谷利一郎

デザイナー：田中 茂、小田扶美子、

秋山伸次

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《銅 賞》

カフェテラス西武・麴町店

クライアント：株式会社レストン西武

ディレクター：和久井雄三

デザイナー：江田良男、小椋勇記夫、

石田節子

プロダクション：東京電装株式会社・富士

工芸株式会社・近代モザイク株式会社・株式会社内木商会・近藤忠商事株式会社

《銅 賞》

玉川高島屋ショッピング・センター：銀座リズ

クライアント：福岡三紗

ディレクター：高見 慧

デザイナー：高見 慧、松江 宏

プロダクション：株式会社ゼニヤ・株式会社大洋工芸

《銅 賞》

《銅 賞》

西友ストアー・巢鴨店

クライアント：株式会社西友ストア賞

ディレクター：北上 修、大島 勉

デザイナー：江田良男、石田尚史、神

川 武

プロダクション：株式会社シマスタジオ・

株式会社小林工芸社

《銅 賞》

玉川高島屋ショッピングセンター：イワキ・メガネ店

クライアント：イワキ・メガネ店

ディレクター：兼松 茂

デザイナー：杉田浩一、竜ノ口征雄

プロダクション：株式会社高島屋工作所

《銅 賞》

資生堂スキンケア、ウインド・ディスプレイ

用ユニット

クライアント：株式会社資生堂

授賞作品一覧（1970・2・1）

ディレクター：水野卓史

デザイナー：鬼沢 邦、緑川佳功

プロダクション：凸版印刷株式会社

《銅 賞》

資生堂ナチュラル・グロウ、ハンガー・ディスプレイ

クライアント：株式会社資生堂

ディレクター：中村 誠

デザイナー：田中寛志

プロダクション：凸版印刷株式会社

《銅 賞》

大洋工芸、マルチ・ユニット

クライアント：株式会社大洋工芸

ディレクター：清水正博

デザイナー：玉山 聰

プロダクション：株式会社大洋工芸

《奨励賞》

44年度大洋工芸新作発表会

クライアント：株式会社大洋工芸

ディレクター：北尾克三郎

デザイナー：杉山 昭、塚本順一郎

プロダクション：株式会社大洋工芸

《奨励賞》

東京トヨペット、ショップ・ショップ・フェア

クライアント：東京トヨペット株式会社

ディレクター：遠藤英雄

デザイナー：田中俊行

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《奨励賞》

ディスプレイ・ホール「イメージ増殖」ディスプレイ

クライアント：株式会社乃村工芸社

ディレクター：石原堅次

デザイナー：大山忠史、堀田勝之

プロダクメオン：株式会社乃村工芸社

《奨励賞》

近鉄百貨店・上本町店、売場ディスプレイ

クライアント：株式会社近鉄百貨店

ディレクター：中村博幸、大橋美貞

デザイナー：石原卓司、蔭山利夫、奥

村 晟、田中 茂、市川元則、片岡一秀、

郷力憲治、細田泰彦、横井正和、久保 茂

中瀬古由夫、宮崎鋪輔、辻井美千代

プロダクション：株式会社乃村工芸社

《奨励賞》

大宮西武百貨店、サイン・ディスプレイ

クライアント：株式会社西武百貨店

ディレクター：沢田吉宏

デザイナー：本間雄三、大橋八郎、山

本幸雄・山田和孝

プロダクション：伸始工業株式会社

その他、入選78点



じっくり未来を考える——
ヘルスチェアが話題になります

わずか5～6分間のマッサージで疲労感は解消！
インテリア家具

ネコス

ネコス工業株式会社

本社／横浜市戸塚区飯島町久保890-1 TEL (851) 5761 代表
営業所／東京・横浜・北海道・名古屋・大阪・広島・九州

世界中の銘木
HOKUSAN

株式会社
ホクサン

東京都江東区木場3-15-4
TEL (641) 5111 (大代表)

世界中の国々へ

当社は原木の輸入から製品まで一貫して、
ツキ板、天然木目合板を製造し、品質は三
井霞ヶ関ビルや皇居新宮殿に御用命いただ
き保証付きです。その品質の良さが輸出で
も世界中の国々で好評を博し、輸出実績日
本一を誇っています。

世界一の規模を誇る工場で厳重な品質管理と量産体制のもと 超高層ビルの技術と研究を皆様の住まいの《窓》に結集

ホームサッシュFKで知られている住宅用アルミサッシュ
とビル用レディメードアルミサッシュを日本で最初に売り
出したアルミサッシュのトップメーカーです。

今後はもっと広い住宅産業に乗りだすべく準備中です。

資本金 45億7,500万円

本社工場 〒211 川崎市中丸子135番地

そのほか、千葉・玉川・大阪・淀川・船橋の5工場あり。

年商約400億円。

不二サッシ販売株式会社

東京事務所 東京都中央区日本橋室町1-3 (日本橋大栄ビル)
電話 (03) (279) 1611 (大代)
大阪支店 大阪府大阪市東区本町4-4-1 (本町野村ビル7階)
電話 (06) (262) 2541

不二サッシ工業株式会社

本 社 神 奈 川 県 川 崎 市 中 丸 子 135
電話 (044) (42) 1111 (大代)



RIBACO INTERIOR PRODUCTS
株式会社小川商店

本社 東京都港区西新橋2-6-1 ☎(591)1386代〒105
 渋谷営業所 東京都渋谷区松濤町2-18-2 ☎(460)5771代〒150
 大阪出張所 大阪市南区末吉橋通2-7(第百生命ビル)☎(261)7602〒542

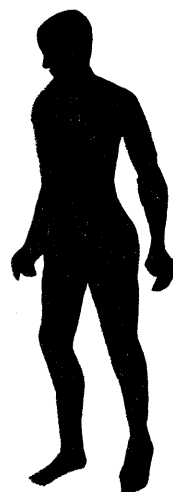
インテリア＝生活環境は

人間の生活を良くも悪くも変化させます
 より豊かな生活空間を創りたい——
 住江織物はこうした基本理念に基づき
 トータルインテリアの立場からより人間的な
 生活環境の創造を追求しております

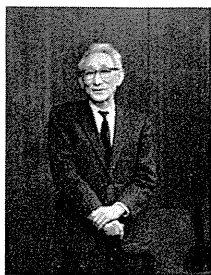


住江カーペット・住江カーテンに代表される
 インテリアファブリックスのトップメーカー

住江織物株式会社 本社 東京支店 東京(03)433-4171



昭和45年新年会の開催



昭和45年の新年会は、1月23日17時から農林年金会館松ノ間で開催された。出席者は豊口理事長ほか、正会員23名、準会員1名、賛助会員、4名に事務局員などを加え、さらに、当日行なわれた月例講演会の講師藤島茂氏（トイレット部長の著者）のご出席を得て、うん、づいた話題を中心として盛会裡に散会した。散会17時30分。

■ 編集後記

社団法人として公的に認められた日本インテリアデザイナー協会は新しい年、1970年代を迎え対社会的に我々インテリアデザイナー諸氏は変貌する社会にどう対処すべきか、情報化時代といわれる今日、日常生活において人間性をいかにしてとりもどすか……社会的な任務と協会の充実が会員諸氏の積極的な参加があってより一層の充実ができると思います。毎号編集にあたって何か欠陥があるのではないか、それは会報が惰性的にくりかえされ型にはまって独創性や新鮮味をなくさないためにも会員諸氏の御意見、御批判を受け入れ協会をアピールすることに意義があると思います。

なにはともあれハンプルグ在住の前

広報部長の榎田氏より期待通りヨーロッパのデザイン情報を寄稿させていただき心強く思っております。

＜織田 記＞

機関誌・J I D・No 4・Vol 41 昭和45年4月発行 発行人 豊口克平 編集 社団法人日本インテリアデザイナー協会
 発行所 社団法人日本インテリアデザイナー協会 東京都渋谷区神宮前1-14-34森ビル (〒150) 電話 403-6647 印刷所
 広報委員会 委員長 三宅征郎 部員(関東) 泉修二・尾上孝一・織田武己・鈴木栄二・高橋岩夫・牧野達夫・矢田秀治 (株) カタログ社
 (関西) 上野忠之・尾畑祐司・南原七郎・本田安治・森岡正・村田博三 TEL (267)1461